

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム はまの里

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 08 月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	今後、老老介護が増加する中、制度の活用が重要になるので、職員研修会で制度を理解し、利用者や家族の状況を、見守りながら、いつまでも安心して暮らせる体制を確立していく。	制度の資料やパンフレット等を整備し、職員が利用者や家族に説明出来る支援体制や、行政相談窓口等への、橋渡しがスムーズに出来る協力体制の確保。	12ヶ月
2	37	災害対策	今期は、日程調整がうまくいかず、延び延びになっているので、消防署指導による避難訓練を、早急を実施していく。	年2回、非常災害のおける、昼夜を想定した避難訓練の実施と、電気、水道、ガス等が使用出来ない場合の、非常食、飲料水、毛布等の備蓄の準備。	12ヶ月
3		介護日誌・記載が乏しい	日勤帯での記録が不十分で入居者様の状況が把握できない。	○介護日誌の記載が不十分の為、午前・午後の担当を決める。 ○ケアプランの充実を計る為に記録を残していく。 ○入居様のニーズを知り、よりよい介護を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。